

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野西北小】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)学びの基本となる知識・技能 (2)自立した学習者を目指す、自らの学習を調整することのできる力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)週1回の朝学習「基礎基本」の時間を充実させ、基本的な内容の習熟に取り組む時間を設定。【年間33回】 (2)ICTを活用した学習アプリによる習熟度別のスキル向上【学期に1回以上】 (3)アウトプットを中心とした学習活動の設定と自らの学びを振り返る時間の設定【単元末】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
		↓
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	国語に関しては、全国の平均正答率を上回った。しかし、言葉を漢字に直す問題の正答率が低かった。「思考力、判断力、表現力等」の特に「読むこと」の問題に課題が見られた。	
	算数に関しては、全国の平均正答率を上回った。しかし、「変化と関係」の問題において、無回答率が高く、比較量から基準量を求める問題に課題があることがわかった。	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	国語に関しては、基本的な漢字等の知識・技能の習得に課題があることが考えられる。 算数に関しては、出題内容を把握できていないことや、割合の概念を理解できていない実態が考えられる。	

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	評価(※)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用
	B	③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	計画した向上策について、時期・頻度ともに計画通り実施できている。
	B	「基礎基本」の時間で行う学習内容を校内で見直し、より質の高い時間になるように努めている。
↓		
学力向上策の 見直し	変更なし	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所